



Forest 熊本県森林組合連合会

森林組合だより

FOREST ASSOCIATION COMMUNICATION PAPER

第188号

令和5年1月発行

発行所
熊本県森林組合連合会
〒861-8041
熊本市東区戸島2丁目3-35
TEL (096) 285-8688
FAX (096) 285-8651
発行人 前川 收
<http://www.kumamori.or.jp>



『2023年は癸卯(みずのと・う)』

2023年の干支は「癸卯(みずのと・う)」。干支は古来、未来を探るための手段として使われてきました。それによると「癸卯」は、「寒気が緩み、萌芽を促す年」になるようです。コロナ禍以降、停滞し続けていた世の中に、そろそろ希望が芽吹く春がやってきそうなのです。

ただし今まで培ってきた自身の力が試される年であることも示唆しているため、最後まで諦めずに希望を持ち続けながら、大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。

本年もよろしくお願ひ申し上げます

熊本県森林組合連合会

代表理事 前川 收

副会長 池田 和貴

専代表理事 三原 義之

理事 平井 光臣

河津 宗範

坂田 鉄太郎

西坂 栄樹

味岡 和國

宮原 俊彦

桑畑 達美

代表監事 堀川 泰注

監事 源川 貞夫

荒平 貞昇

他職員一同



新年のご挨拶

~New year greetings~



熊本県森林組合連合会
代表理事会長

前 川 收

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに、新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、私共の業務運営に対しご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種等の関係者の努力により、落ち着きを見せていたものの再び増加傾向にあります。第8波との報道もなされていることから、感染対策を行いながら、社会経済活動を維持していくための行動をお願いします。

さて、昨年を振り返りますと、コロナ禍による物流の混乱に伴う資材不足に、ウクライナ情勢による資源高が拍車をかけ、世界経済に大きな影響を与えました。木材の状況について、国産材はウッドショックによる価格の上昇からやや下がったものの落ち着きを見せていますが、輸入材が記録的な円安にもかかわらず増加しており、今度の価格動向に注視が必要となっています。

一方、国における「2050年カーボンニュートラル」の宣言やSDGsの理念の広がりを受けて、二酸化炭素削減に向けた取り組みとして、間伐や主伐・再造林等の森林整備による吸収源対策や、木材の利用促進による炭素固定など、森林資源の循環利用などが求められています。また、森林の適切な管理による炭素吸収量を環境価値として売買し、森林整備に対する一助とするJ-クレジットの取り組みも進められています。我々森林組合系統は、このような流れを好循環とするため、地域の森林整備の担い手として、

これらの取り組みを積極的に進めていきたいと考えています。

さらに森林環境譲与税がスタートして5年目となり、市町村による取り組みも進みつつありますが、来年度から森林環境税の徴収が始まります。これまで以上に、使途に注目が集まることが予想されることから、地域の実態を把握している森林組合系統による、更なる市町村への働き掛けや、事業提案が必要となることから皆様の協力をお願いします。

次に林業担い手についてですが、かねてから国へ要望活動を行ってきました技能検定制度の林業部門の追加については、本県において、試行的運用試験が行われました。今後、全国各地で運用試験が行われることとなりますが、早期の技能検定制度(国家検定)実施に向け国に働きかけて参ります。

また、昨年も県内で林業労働災害による死亡事故が発生しました。林業は、他産業に比べ10倍の労働災害発生率があり、少しのミスで尊い命が失われる大きな災害に繋がります。ひとたび労働災害が発生すると、本人はもとより、家族や職場、同僚に大きな影響を与えることとなります。林業労働災害防止対策は、役職員が一体となって取り組むことが大切であり、各々の立場で注意喚起を行って、事故が発生しない職場づくりをお願いします。

最後になりましたが、本年が皆様とご家族にとって豊かで実り多き一年となりますことをご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶と致します。



熊本県農林水産部
部長

竹内信義

会員並びに森林組合の組合員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には日頃から、本県の森林・林業・木材産業施策の推進に当たりまして、格段のご支援とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、昨今の情勢を振り返りますと、ウクライナ情勢に伴うロシア材の輸入禁止等により国産材への転換が求められる中、県産材への期待が更に高まるとともに、県内の豊富な森林資源の活用と保全への取り組みが非常に重要となってきております。

このような中、本県においては、全国に先駆けて昨年8月に、県内の製材・加工・流通・森林組合系統の関係者が中心となって、県産材のサプライチェーン構築を目指した取り組みが始まったところです。

また、県では、「緑の流域治水」の取り組みとして、流域全体の総合力で安全・安心を実現するため、森林組合をはじめ林業関係の皆様方のご協力のもと、「林地保全に配慮した林業のガイドライン」による林業と県土保全の両立に向けた取り組みを進めるとともに、森林整備や治山事業等を通じて、森林の持つ土砂流出防止や水源かん養等の公益的機能の維

持・発揮に取り組んでいきます。

さらに、「熊本県森林組合指導方針」において、森林組合は、「地域の森林管理及び林業経営の中心的担い手」として位置付けられているとおり、森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度における市町村への技術的な支援や、森林所有者に対する森林整備の働きかけなどの取り組みが着実に展開されているところです。

このように、持続可能な森林経営と多様で豊かな森林づくりの推進のためには、「伐って、使って、植えて、育てる」という、森林資源の循環利用のサイクルを確立させていく必要があります。

今後とも、森林組合をはじめとした関係者の皆様方とともに、間伐等の適切な森林管理や伐採後の確実な再生林による森林再生に向けた取り組みを強化して参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本年が皆様方にとって輝かしい年となりますよう、併せて、益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。年頭のご挨拶といたします。



農林中央金庫 福岡支店
支店長

久古谷 卓 治

謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、旧年中は弊庫の業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は2020年から流行している新型コロナウイルスのワクチン接種が進み感染拡大が一定程度収まり、少しずつではありますが国内経済活動が回復してきたように感じられた一年でした。また昨年2月には、ロシアによるウクライナ侵攻が開始され、エネルギー価格などを中心に物価高が進みました。新型コロナ、ウクライナ情勢ともに、先が見通せない状況が続きますが、一日も早く事態が収束することを心より願っております。

林業分野におきましては、一昨年に発生した「ウッドショック」により急騰した木材価格が徐々に下落しましたが、国産材需要に支えられ比較的安定した価格で推移したように見受けられました。ウッドショックによる外材流入減を経験し、住宅メーカーなど木材を利用する企業では国産材回帰の流れが

強まってきており、本年も国産材需要が継続し、価格が安定的に推移することを期待しております。

私ども農林中央金庫では、森林組合系統の皆様に対しまして、金融、非金融の両面からサポートを実施しております。昨年からは、脱炭素化社会の実現および林業所得向上に資する取り組みとして、「森林組合系統による森林吸収系」ークレジット創出支援」を開始いたしました。この取り組みは、二酸化炭素吸収量の増大のみならず、再生林等の森林保全の安定財源確保を通じた林業サイクルの循環や林業所得向上に資するものでありますので、本年も最重点事項として注力していく所存でございます。

また、森林組合系統の発展に向けて、林業の労働安全性向上のための費用助成を行う「労働安全性向上対策事業」や国内の荒廃した民有林再生を支援する「農中森力基金等についても継続して取り組んで参りますので、引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

全国森林組合連合会
代表理事会長

中崎和久



年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、弊会の業務運営につきまして特段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も集中豪雨等により全国各地で災害が発生しました。被災された方々に衷心よりお見舞いを申し上げるとともに、森林組合系統が一丸となって、復旧・減災の取組に尽力することを改めて決意する次第です。また、新型コロナウイルス感染症については、感染対策から社会経済活動との両立への転換が進められているところですが、昨年末より新たな感染拡大が始まっており、ウクライナ情勢を始めとした世界情勢の混迷と合わせて、経済への影響が懸念されるところです。

その一方で、SDGsやカーボンニュートラル社会の理念の広がりを受け、森林の多面的機能の発揮への国民の期待が高まっており、森林組合系統に対しては、地域の森林管理の担い手として、森林資源の適正な管理や循環利用に向け中心的な役割を發揮することが求められています。

そのような中、森林組合系統では、一昨年の秋に決議した「JForestビジョン2030」に基づき、系統各組織において、10年後の夢・目指す姿を策定し、地域森林の適切な利用・保全と林業経営のさらなる発展に向けた取組を本格展開しているところです。

関連して、弊会が事務局を務める「林業技能向上センター」は昨年9月に任意団体から一般社団法人となり、林業に関する技能検定制度の構築に向けた取組を加速しております。技能検定制度の創設により、現場技能者の所得向上や作業環境の改善が図られ、ひいて

は業界全体の課題である労働力不足の解消につながるよう取組を進めて参ります。

また、昨年6月には森林・林業・木材関係6団体とともに、国産材の安定供給体制の構築に向けた「共同行動宣言」を行いました。この共同行動宣言では、「時代の要請に応える国産材の安定供給体制の構築に向けて」をテーマに、日本の森林が健全な姿で次世代に受け継がれていくため、持続性の確保された国産材の原木及び製品の生産・流通・利用と国産材シェアの拡大に向けて、生産者と需要者が一体となり実現を目指すこととした画期的なものであり、主旨の実現に向け協力体制の構築に注力して参ります。その他、昨年8月には韓国山林組合中央会と事業協力協定を締結し、林業政策や技術者育成に関する情報共有等、相互発展に向け協力を深めることとしました。早速、韓国の山林組合視察団による日本の森林組合、森林組合連合会への視察が行われ、今後も様々な連携を進めて参ります。

さらに、新たな取組として、カーボンニュートラル社会への貢献を目指し、農林中央金庫とともに、森林組合系統における森林由来クレジットの円滑化に向けてサポート策の検討を進めています。

今後も、弊会では系統関係者及び関連団体とともに、森林資源の循環利用を通じた「グリーン成長」の実現、人材の確保・育成、林業労働安全、国産材利用促進等に向け、役職員一同精進する所存ですので、今後とも倍旧のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

いつ襲って来るかもしれない
「もしも」のために
森林保険へ加入しましょう！

台風、山火事などの災害による
森林の損害に備え、
森林保険にご加入ください。



森林保険
イメージキャラクター
マモルくん

お申し込みは…

JForest

熊本県森林組合連合会

熊本市東区戸島2丁目3-35
TEL 096-285-8688



右から：県森連 池田 副会長
(有)大川林業 大川 社長
(株)KAYアーキテクツ 吉永 社長

このコンクールは、県産木材を利用した優れた木造大型施設等を顕彰することにより、県民の県産木材利用の意識の向上と需要拡大を図ることを目的に平成7年から毎年開催されています。

令和3年度の表彰式が、令和4年3月24日(木)に熊本県庁知事応接室において行われ、熊本県森林組合連合会賞を、『もくもくほいくえん』が受賞されました。

＝選考のポイント＝

敷地は交通量の多い市道に接し、外観は木材を多用して地域の景観に馴染んでいる。園庭を中央に配した中庭型で、それを取り囲む内外装を木質化したRC壁を木造小屋組の屋根が覆う。北端の保育室からホールに向けて、屋根高を螺旋状に上げていく作り方も成功している。使用木材を一般流通材とし、曲げヤング係数や含水率にも配慮し、調達しやすくしている。また、軒の出や外壁杉板面の高さなどに、メンテナンスへの工夫もみられる。

第27回 熊本県木材利用優良施設コンクール

＝熊本県森林組合連合会賞＝ 『もくもくほいくえん』受賞



施主／(有)大川林業
設計／(株)KAYアーキテクツ ほか
所在地／合志市御代志1848-6
延べ床面積／441㎡ 県産材使用量／67㎡
主な使用樹種／スギ、ヒノキ

その他の受賞者は以下のとおりでした。

〔熊本県賞〕

八代市民族伝統芸能伝承館『お祭りでんでん館』
八代市西松江城町1番47号

〔熊本県木材協会連合会賞〕

神水公衆浴場
熊本市中央区神水2丁目2-18

〔熊本県木材事業協同組合連合会賞〕

垂玉温泉『瀧日和』
阿蘇郡南阿蘇村河陽2331

〔くもと県産材振興会賞〕

南天倶楽部ひいらぎハウス
上益城郡益城町安永753-1

〔賛助施設〕

道の駅『泗水』防災トイレ
菊池市泗水町豊水字麦田3164-3



各種研修会の開催

当連合会では、森林組合の役員・職員のスキルアップを図るため、各種研修会を実施いたしました。

森林組合初任者研修会

開催日：令和4年6月24日(金)

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

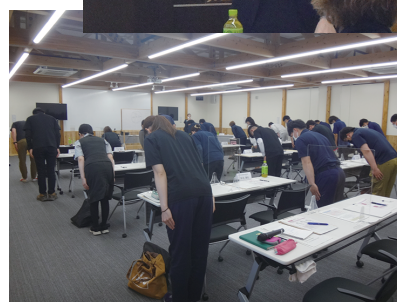
対象者：森林組合に入組3年以内の者

講師：午前の部：県森連職員

農林中央金庫福岡支店 志野 秀 樹 九州営業第三部長

午後の部：肥銀ビジネス教育(株) 堀川 貴子 インストラクター

内容：午前中は、森林・林業の現状と森林組合系統組織についてと、コンプライアンス全般についての研修を行い、午後からは、ビジネスマナーに関する基礎知識とスキルの習得等について研修を行いました。グループワークなどを取り入れた5時間という長丁場の研修でしたが、参加者の皆さん、終始顔をあげ真剣に受講されている姿が印象的でした。



参事(参事級)研修会

開催日：令和4年9月29日(木)

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：森林組合管理者(参事・参事級)

講師：午前の部：県森連職員

午後の部：特定社会保険労務士 岩根 翔様

内容：午前中は、令和5年度の国予算等への提案書やインボイス制度等について説明するとともに、J-クレジットへの取り組み事例の情報提供や、意見交換を行いました。午後からは、ハラスメントリスクや副業・兼業のルール作成研修を実施しました。



森林組合監事研修会

開催日：令和4年10月5日(水)

開催場所：グランメッセ熊本 2F 大会議室

対象者：森林組合の監事

講師：午前の部：県森連職員

農林中央金庫福岡支店 志野 秀 樹 九州営業第三部長

午後の部：全国森林組合連合会 佐々木 太郎 参事

内容：午前中は、当連合会の井野参事が、森林・林業・木材産業の現状と課題について説明した後、農林中金の志野部長を講師として、過去の組合系統における不適正事案の発生状況や未然防止等のコンプライアンス全般について研修を行いました。午後からは、全森連の佐々木参事から、系統の抱える問題や実施すべき監査のポイントについて講話いただきました。役員からは実践理事についての質問も挙がり、有意義な研修となりました。

令和4年度 森林組合監事研修会



森林組合中堅者向けスキルアップ研修会

開催日：令和4年10月17日(月)

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：森林組合の課長・係長・一般職員

講師：(株)ピースマネジメント 江越卓真 代表取締役

内容：本研修の参加者から、「たくさんの部下から相談を受ける身であるが、自分の対応が正しいのかが不安だったので大変勉強になった」と「自分が現在直面している日ごろの業務の中での部下とのやり取りについて参考になった」等の感想をいただきました。また、グループワークにより「他組合と悩みを共有することができ、普段自分が気づかない視点で問題点を考えさせられてよかった」という感想もいただきました。
今後も、会員の皆さんに満足していただけるような研修に努めてまいります。



森林組合管理職向けスキルアップ研修会

開催日：令和4年10月18日(火)

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：森林組合の参事・部長・課長

講師：(株)ピースマネジメント 江越卓真 代表取締役

内容：本研修の参加者から、「実際の不正事例から学べたため、業務と関連づけることが出来たことがよかった」と「内部統制強化により、持続的な安定した組合経営に繋がることを再認識できた」等の感想をいただきました。
また、グループ討議では予定時間をオーバーするほど活発な意見交換の場となりました。



森林組合経理責任者(担当者)研修会

開催日：令和4年11月17日(木)

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：経理担当者ほか

講師：午前の部：国税庁 熊本国税局 消費税課 池田敬祐様

午後の部：林野庁 林政部 経営課 江崎五郎様

内容：2023年10月から始まるインボイス制度について、オンライン併用により研修を開催しました。講話を受けて、森林組合等へ森林所有者が材を出荷する場合の消費税の取り扱いはどうなるのか。年間通して出荷をする出荷者には適格請求書発行事業者として登録してもらう必要があるのか等の質問が挙がりました。これを受けて、取引先(売り手および買い手)と適正な取引条件等を事前に話し合っておく必要がある。ただ、一方的な取引価格の引下げや取引の打ち切りは、独占禁止法上の問題(優越的地位の濫用)となるおそれがあるとの回答がありました。



森林組合役員研修会

開催日：令和4年12月7日(水)

開催場所：グランメッセ熊本 CVホール

対象者：森林組合の役員

講師：午前の部：県森連職員

午後の部：農林中金総合研究所

食農リサーチ部 兼 基礎研究部 主任研究員 安藤 範 親様

食農リサーチ部 兼 基礎研究部 主事研究員 多田 忠 義様

内容：午前中は、当連合会の井野参事が、森林組合理事としての義務と責任を含むコンプライアンス全般や森林・林業・木材産業の現状と課題について、また令和5年度の林野庁概算要求について説明を行いました。午後は、農林中金総合研究所から講師をお招きし、ウッドショックおよびロシアのウクライナ侵攻が及ぼした木材産業への影響について、大量のデータ分析から得られた有用なデータを基にした、木材産業を取り巻く経済情勢について情報提供をいただきました。



令和4年度 JForest 全国森林組合代表者大会

— 森林資源の循環利用を通じた「グリーン成長」の実現 —

全国森林組合連合会主催の令和4年度 JForest 全国森林組合代表者大会が、10月25日に東京都内で開催され、全国から約200名の組合関係者が参加するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で会場への参加人数が制限されたことから、オンラインによる配信も行われました。(本県より4名の参加)

主催者挨拶として、中崎和久代表理事会長が150万組合員を代表して各地の組合関係者が会場とオンラインとで参集しているとした上で、近年の集中豪雨や台風で森林組合系統にも被害が及び、特に森林・林道などへの被害や施設・機材への損壊が生じているとし、引き続き復旧・防災に取り組んでいく意欲を示しました。また、輸入材のリスクが明らかとなり、国産材への転換が望まれるなか、山元立木価格の適正化、技術者の育成確保や先進的技術の導入、基幹道の整備といった長年の懸案事項の解決を積極的に進めていく時であるなどと訴えとともに、昨年策定した新たな系統運動方針に基づき「森林組合は主体的な経営努力、市町村と連携した森林管理体制の整備、木材販売力の強化、高度な人材育成、信頼される組織体制の確立、SDGsへの貢献を進めなければならない」と述べ、支援、協力を要請しました。

引き続き、来賓として野村哲郎農林水産大臣の祝辞を織田央林野庁長官が代読し、2024年度から森林



環境税の課税が始まると、この税に対する国民の関心も高まる。特に都市住民のなかで森林整備の重要性に対する理解が深まるよう、森林組合には自治体の施策のなかで積極的に役割を担ってほしいと、今後の活発な活動、展開に期待が寄せられました。

大会では、表彰に続いて、「森林整備のための財源確保」「森林組合系統運動の推進」についての意見表明を受けて、大会決議が採択され本大会が締めくくられました。

大会決議

1. 国土保全等森林の公益的機能の発揮に必要な森林整備予算の大幅な拡充と森林環境譲与税の活用促進支援
2. 主伐後の再生林の確実な実施を通じた森林資源の循環利用の推進と林業経営確立のための取組強化、需要拡大等による国産材の持続的かつ安定的な供給体制の構築
3. 技能検定制度創設等労働安全対策推進や就業環境改善とともに「緑の雇用」事業、森林プランナー育成対策事業等による人材の確保・育成

[全国森林組合連合会会長表彰]

－ 栄えある表彰者 －

大会では表彰行事が行われ、組合系統の発展に功績のあった方々が表彰された。
県内の表彰者は次のとおり。

◇ 功労者表彰（組合役員）

「小国町森林組合」 時松 昭弘

◇ 功労者表彰（組合職員）

「鹿本森林組合」 杉谷 孝治、池尻 将尚

「くま中央森林組合」 白竹 陽一

「上球磨森林組合」 堀江 亮太

「五木村森林組合」 中野 重実、宮原 正一

◇ 功労者表彰（現場技能者）

「水俣芦北森林組合」 村上 博史

「天草地域森林組合」 松下 正太、中村 和敏、山本 幸浩、柴田 秀隆、吉田 浩幸、
岩崎 一樹、浦上 正治、平中 英文

◇ 感謝表彰（退職者）

「くま中央森林組合」 島津 達也

「天草地域森林組合」 谷口 浩幸

「県森林組合連合会」 井野 道幸、広岡 光夫、福田 浩一郎、佐藤 善之、宮崎 晴生

令和4年度

熊本県林業施策勉強会の開催および国への要望活動

とき：令和4年10月24日(月)～25日(火) ところ：東京都千代田区(林野庁ほか)

令和4年度熊本県林業施策勉強会を東京都千代田区の参議院会館で実施しました。

県選出国會議員、林野庁幹部、熊本県林業政治連盟の役職員、組合長が参加した勉強会では、林野庁幹部から「林業労働力の確保の促進に関する基本方針の変更について」と「森林由来J-クレジット制度について」の2つのテーマの説明を受け、活発な質疑応答が行われました。

また、翌日に令和5年度の政府予算等に関する提案・要望書を林野庁の織田長官へ手交し、予算概算要求の満額獲得に向けての要請を行いました。



勉強会の様子



林野庁長官へ要望書手交

第38回全国都市緑化くまもとフェア くまもと花とみどりの博覧会

2022年3月19日から5月22日まで開催された、
第38回全国都市緑化くまもとフェアに、
本会もゴールドパートナーとして協賛いたしました。



まち山エリア(立田山)



ツリーハウス

メイン会場のひとつである「立田山のまち山エリア」の中に熊本市発注でツリーハウスを設置し、放置された竹林から搬出した竹を有効活用してドームも作りしました。

開催中は多くの来場者に楽しんでいただきました。

また、木工教室を11回開催し、折りたたみ椅子、スライド式本立て、ミニ椅子の3種類の製作を行いました。

かなづちと釘を使い、親子で製作を楽しみながら完成させ、「いいね!」と喜ぶ姿にこちらも充実感でいっぱいになりました。

材料は県産のスギの無垢材を使用し、木が持つ本来の感触や魅力も併せて発信することができました。



木工教室風景



完成したスライド式本立て

『くらしと人権』 =気づこう、そして考えよう=



熊本県人権啓発
マスコットキャラクター
「ココロ」



「人権」とは

人は誰でも自分らしく、そして幸せに生活するという基本的な権利を生まれたときから持っています。この権利を「人権」といいます。



「人権問題の解決」のためには

私たち一人ひとりが、相手の立場に立って考え、自分の言動に責任を持つことが重要です。

「熊本県では、結婚や就職の際の部落差別につながるような身元調査が条例で規制されています。」

竹凜共振 竹の楽団

竹の響きで 竹害を竹財に!
地域を元気に! 地域をつくる!

くまもと花博開催期間中、立田山のまち山エリアの野外ステージにて、竹の創作楽器を使って演奏する楽団、「竹凜共振プロジェクト」さんの演奏会を行いました。

竹凜共振プロジェクトは、北九州市合馬地区などの筍を生産する竹林整備に関わる活動をしており、廃材となる竹を有効活用して、竹の創作楽器『竹チェロ』や『竹バイオリン』を考案されました。その竹の創作楽器である竹チェロや竹バイオリンの演奏活動を通して、竹害を知ってもらい、多くの人々に自然に目を向けてもらう啓発活動にも取り組んでおられます。

今回竹バイオリンや竹チェロの演奏を初めて聴きましたが、音色がとても心地よくまろやかで温かみがあり、ステージが森の中ということも相まって、素晴らしい演奏に感動しました。会場の雰囲気と演奏の一体感が見事で、何度でもコンサートに足を運びたいくなりました。



竹凜共振の皆さん



竹バイオリン



竹チェロ

熊本県下森林組合原木市況

(令和4年12月)

スギ販売市況

| 長さ | 末口径 | 直材単価(円) | 曲り材単価(円) |
|-----|---------|---------|----------|
| 3 m | 16~18cm | 18,200 | 12,500 |
| 4 m | 10~13cm | 13,000 | 9,500 |
| 4 m | 14~22cm | 17,600 | 12,500 |
| 4 m | 24~28cm | 17,000 | 12,200 |
| 6 m | 18~22cm | 24,700 | 21,500 |

ヒノキ販売市況

| 長さ | 末口径 | 直材単価(円) | 曲り材単価(円) |
|-----|---------|---------|----------|
| 3 m | 16~18cm | 18,800 | 14,300 |
| 4 m | 10~13cm | 12,700 | 9,200 |
| 4 m | 14~22cm | 20,300 | 15,500 |
| 4 m | 24~28cm | 20,000 | 15,000 |
| 6 m | 18~22cm | 29,000 | 27,500 |



ご存知ですか? 「林退共」の退職金制度

● 林退共制度は…

林業で働く人たちのために、国が作った退職金制度で、安全・確実に従事者の皆様へ退職金をお支払いします。

● 事業主のメリットは…

◎ 税法上の扱い

事業主が払い込む掛金は、法人では損金、個人では必要経費として全額非課税となります。

◎ 国の補助

新たに加入した従事者は、掛け金の一部が免除となります。



ホームページへは
こちらからアクセスを。

お問い合わせはこちらまで

独立行政法人
勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
TEL.03-6731-2889

新組合長紹介



玉名森林組合
代表理事組合長
荒木 拓馬

この度、西島前組合長の後任として、令和4年7月29日開催された総代会後の理事会で選任いただき、代表理事組合長に就任いたしました荒木拓馬(あらきたくま)と申します。どうぞよろしくお願い致します。

微力ではございますが、玉名地域の林業の振興と組合員の皆様及び玉名森林組合の発展のために全力を挙げて職務に邁進する所存です。

皆様方のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



球磨村森林組合
代表理事組合長
蒨 初美

この度、球磨村森林組合の組合長として選任されました、蒨初美(しとみはつみ)と申します。41年に渡り組合の職員として勤務し、令和2年7月には参事として熊本南部豪雨災害を経験いたしました。皆様方の温かいご支援により、復旧への歩みを進めており、感謝するとともに深く御礼申し上げます。

これからは地域経済の核として、球磨村の復旧復興を支えるとともに、球磨村の恵まれた森林を後世に引き継ぐための、森林組合本来の役割を果たしてまいります。

みんなが、誇りと愛着を持てる球磨村森林組合の実現に向け、微力ながら尽力してまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

New Employee

よろしく お願いいたします

令和4年4月1日に入会しました新人5名を紹介いたします。

入会して10ヶ月目になり、社会人としてこれからも色々経験することがありますが、何事にも挑戦し続けることと思っております。



総務部経理係
椎屋 菜由
しいやまゆ
出身地: 球磨郡
球磨村
趣味: 貯金

大学では行政や情報、会計など様々な分野を幅広く学びました。現在は総務部で、給与処理や伝票の確認、作成などを行っています。元気と真面目さだけが取り柄なので、早くみなさんの役に立てるよう、どんな仕事もめげずに頑張ります。何かと不慣れでご迷惑をおかけする点も多いと思いますが、よろしくお願い致します。



事業部担い手係
万田 拓海
まんたたくみ
出身地: 鹿児島県
枕崎市
趣味: スポーツ
全般

鹿児島大学では農学部に所属しており、獣害対策と森林政策学を絡めた研究をしていました。趣味はスポーツで、仕事終わりの週末などはバスケットボールをしたり、トレーニングジムに通ったりしています。まだまだ仕事に慣れない部分がありますが、現場では先輩方の足を引っ張らないように日々努力をしていきたいです。よろしくお願い致します。



森林調査部森林調査係
黒木 春衣
くろきはるい
出身地: 宮崎県
延岡市
趣味: 散策、
映画鑑賞

大学では、森林緑地の影響や利用、保護などについて幅広く学び、植生立地学の研究室に所属していました。また、自然観察サークルに入り、休日は鳥・昆虫・植物などを見るため、友人と山によく出かけていました。

まだ分からないことだらけですが、先輩方から学びつつ、今は自分にできることを頑張ろうと思っております。



森林保全部森林利用係
矢野 呼春
やのこはる
出身地: 宮崎県
延岡市
趣味: 映画鑑賞、
パン屋・カフェ巡り

3月までは、北海道の大学で野生動物の行動生態について学んでいました。現在は、森林保全部で多面的機能発揮対策交付金の担当をしています。慣れないことばかり(特に方言に苦労しています…)で、失敗することもあるかと思いますが、決して笑顔を忘れず、何事にも前向きに挑戦していきたいです。どうぞよろしくお願い致します。



森林整備推進部森林経営管理サポートセンター
秋田 晴南
あきたはるな
出身地: 天草市
牛深町
趣味: 散歩、読書

大学では主に日本語や日本文学等に関して学んでいたもので、林業については絶賛勉強中です。現在は、森林経営管理制度の運用を市町村がスムーズに行えるように、市町村をサポートする業務等に取り組んでいます。

至らない点も多々あると思いますが、日々精進し、仕事に取り組みたいと思っております。よろしくお願い致します。